

平成28・29年度 学力向上研究校指定事業の 取組について

(西部地区) 鳩山町立鳩山中学校

鳩山中学校の紹介

H29鳩山中学校の生徒数

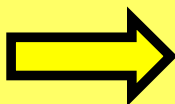
第1学年 96名(3クラス)
 第2学年 101名(3クラス)
 第3学年 103名(3クラス)
 合計 300名



鳩山町の小学校

鳩山町の中学校

鳩山小学校
 今宿小学校
 亀井小学校



鳩山中学校

1町1校

鳩山町教育基本理念
 意欲を育み 心をつなぐ
 重点施策
 I 確かな学力と自立する力の育成
 II 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
 III 質の高い教育環境の整備
 IV 家庭・地域社会と連携した教育の推進
 V 生涯学習と生涯スポーツの振興
 VI 文化の振興と文化財の保存・継承・活用
 の推進

平成29年度鳩山町立鳩山中学校
 学校教育目標

スローガン
 Do your best And Never give up !

自ら学び 心豊かに たくましく

目指す生徒像
 主体的に学習し、
 思いやりの心を持ち、
 たくましい心身を備えた生徒

目指す教師像
 指導力、教育愛、
 信頼感のある教師



学校経営方針

子どもたちが明るく元気に笑顔で生活できる学校をつくる。そのためには、思いやりの心を持ち、心身を鍛え、日々の授業・行事等に真剣に取り組む生徒を育成する。

経営方針具体化の方策

(1) 授業の充実	(2) 豊かな心を育てる	(3) 家庭・地域との連携推進	(4) 安心・安全な学校	(5) 積極的な生徒指導の推進
ア 学校課題研究「学力の向上」 イ 管理職による授業参観	アイ ウ エ オ あいさつの励行 下駄箱の蓋をそろえる 積極的な清掃への取り組み 通書のすすめ ボランティア活動の促進	アイ ウ PTAとの連携 小学校との連携。 地域の団体や関係諸機関との連携	アイ ウ エ いじめや差別を許さない学級・学年づくり 道徳教育、人権教育の充実 定期安全点検の実施及び危険箇所等の早急な修繕 貴の衛生指導	ア 一人一人が大切な存在として認められる学級づくり イ 不登校、いじめ、問題行動の未然防止と早期解決

学校課題研究主題

主体的に学び、話し合い、深め合える生徒の育成
 ～アクティブラーニングを生かした授業の実践



目指す学校像

主体的に行動するとともに思いやりのある生徒を育成する学校

本研究について

(指定の条件)

全国学力・学習状況調査の結果等を
活用し、学校における検証改善サイ
クルの確立に向けた、実践的研究を
目指すものであること。

学力向上研究校指定事業



小学校における学力向上に係る
専科加配教員の配置



小学5年生・6年生（3校）
週1回の授業

今日お話すること

(1) 小学校での取組

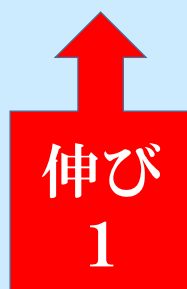
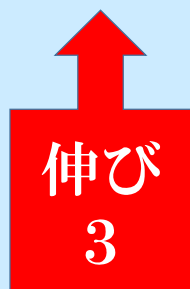
(2) 中学校での取組

小学校での取組

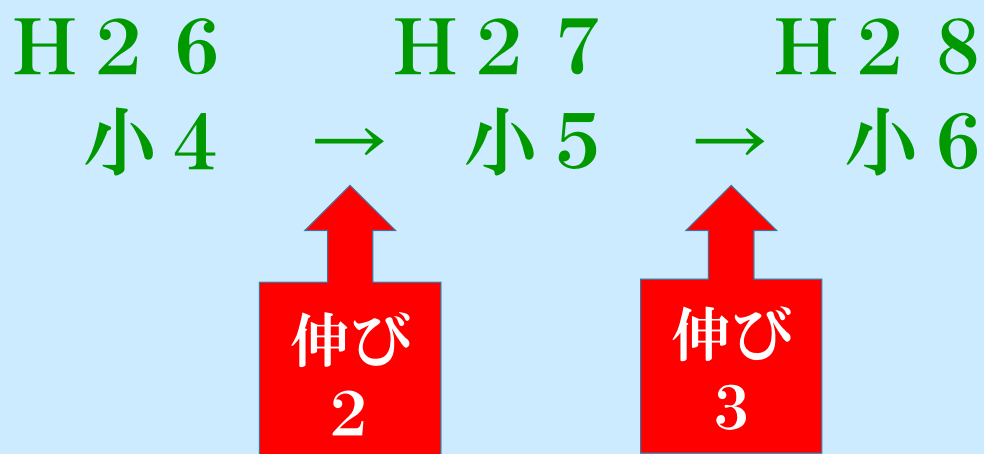
現在の鳩山町の小学6年生
県学力・学習状況調査（算数）

H26 H27 H28

小3 → 小4 → 小5



現在の鳩山町の中学1年生
県学力・学習状況調査（算数）



小学校での加配教員の主な実践内容

- (1) 授業の補佐（T2）
（未習熟児童への個別指導）
- (2) 話し合い授業の展開（T1）
- (3) 復習シートの活用

小学校での加配教員の主な実践内容

(2) 話し合い授業の展開 (T 1)

主な授業内容


- ①分数のかけ算、わり算 ②円の面積 応用
 ③速さ ④鶴亀算 ⑤割合 ○%引き
 ⑥資料の特徴 ⑦文字式の導入

①分数のかけ算、わり算

問11


① 1 dLで、縦を() m²貼れるペンタがあります。このペンタ() dLでは、縦をm²貼れますか。

答 _____ 高さ _____




② 1 dLで、縦を() m²貼れるペンタがあります。このペンタ() dLでは、縦をm²貼れますか。

答 _____ 高さ _____



③ 1 dLで、縦を() m²貼れるペンタがあります。このペンタ() dLでは、縦をm²貼れますか。

答 _____ 高さ _____




1 dLのペンタで、縦を● m²貼れるペンタがあります。▲ dLでは、縦を■ m²貼れます。

1 dL ● m² ▲ dL = ■ m²

問12


① () dLのペンタで、縦を() m²貼れました。このペンタ1 dLでは、縦をm²貼れますか。

答 _____ 高さ _____




② () dLのペンタで、縦を() m²貼れました。このペンタ1 dLでは、縦をm²貼れますか。

答 _____ 高さ _____



③ () dLのペンタで、縦を() m²貼れました。このペンタ1 dLでは、縦をm²貼れますか。

答 _____ 高さ 7 _____



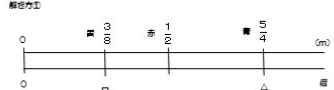
▲ dLのペンタで、縦を■ m²貼れました。このペンタ1 dLでは、縦を● m²貼れます。

□ □ = 1 dL ● m²

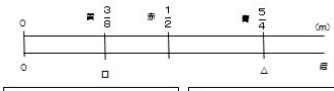
白の異なる長さのリボンがあります。赤・・・ $\frac{1}{2}$ m 青・・・ $\frac{5}{4}$ m 黄・・・ $\frac{3}{8}$ m

赤のリボンの長さをもとにすると、青のリボンと黄のリボンの長さは、それぞれ何倍ですか。

解法方針



解法方針



解法方針

赤・・・ $\frac{1}{2}$ m 青・・・ $\frac{5}{4}$ m 黄・・・ $\frac{3}{8}$ m

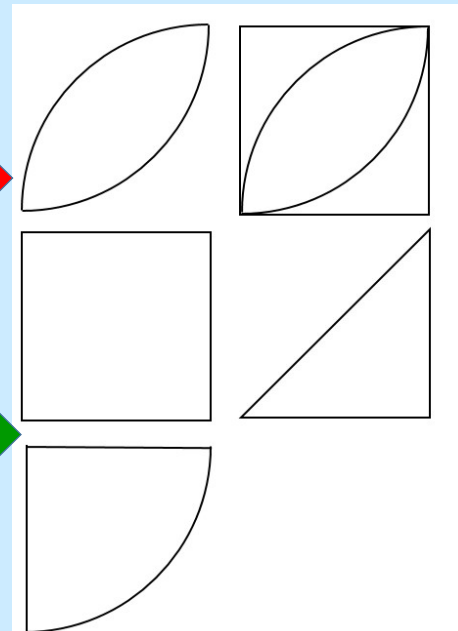
①分数のかけ算、わり算の授業風景



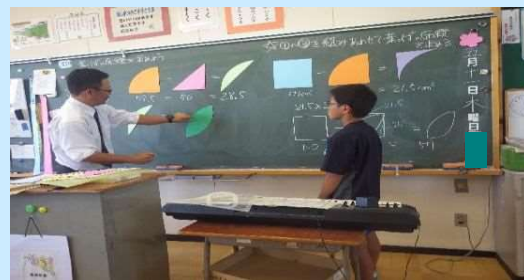
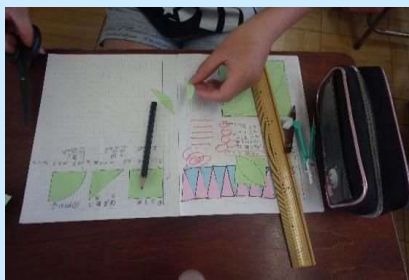
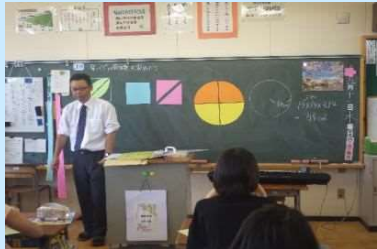
②円の面積 応用

面積を求める
ために...

これらを使え
ないかな？



②円の面積 応用

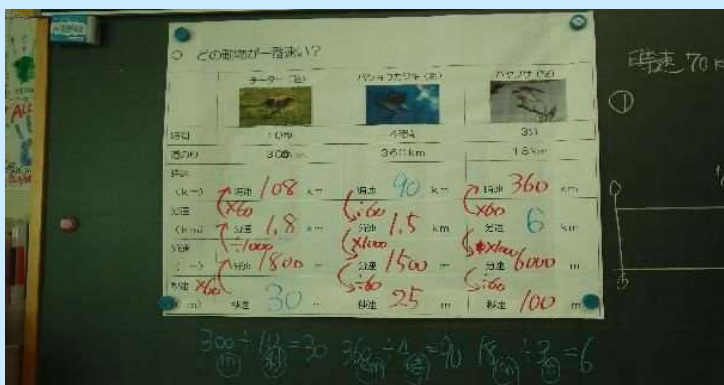


③速さ

○ どの動物が一番速い？

	チーター (陸)	バショウカジキ (海)	ハヤブサ (空)
時間	10秒	4時間	3分
道のり	300m	360km	18km
時速 (km)	時速 km	時速 km	時速 km
分速 (km)	分速 km	分速 km	分速 km
分速 (m)	分速 m	分速 m	分速 m
秒速 (m)	秒速 m	秒速 m	秒速 m

③速さ



小学校での加配教員の主な実践内容 (3) 復習シートの活用

復習シート 第6学年 算数

5 年 生 第 1 学 期

【「数と計算」を問う問題】

① 次の計算をしなさい。

(1) $\frac{5}{8} - \frac{1}{4}$ (2) $\frac{5}{6} \div 7$

答え

$6 \div 0.4$

➔

【「数と計算」を問う問題】

① 次の計算をしなさい。

(1) $\frac{5}{8} - \frac{1}{4}$ (2) $\frac{5}{6} \div 7$

答え

(3) 4.2×1.3

第6学年の
復習シート

第5学年の
三学期

(3) 復習シートの活用

対象：鳩山町すべての小5、小6の児童

- ①加配教員からの**宿題**
- ②加配教員が**採点**
- ③返却・**アドバイス**
- ④およその未習熟の項目を**調査**
- ⑤小学校担任が**指導**に生かす

(3) 復習シートの活用

		①		②		③		④		⑤					
H28小学5年生		1		2		3		4		5		6		7	
小学校	No	氏名	性別	分数・小数の乗除	分数の大小	三角形の面積	平均	比例	円	多角形の角					
				3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
1	1			3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
2	2			3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
3	3			3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
4	4			3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
5	5			3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
6	6			3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
7	7			3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
8	8			3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
9	9			3	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
10	10			2	67%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
11	11			2	67%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%	1	100%

小学5年生
(現在の小6)
比例の分野が
苦手な傾向

中学校での取組

現在の鳩山中学校の中学2年生
県学力・学習状況調査（算数・数学）

H 2 6

小 5

→

H 2 7

小 6

→

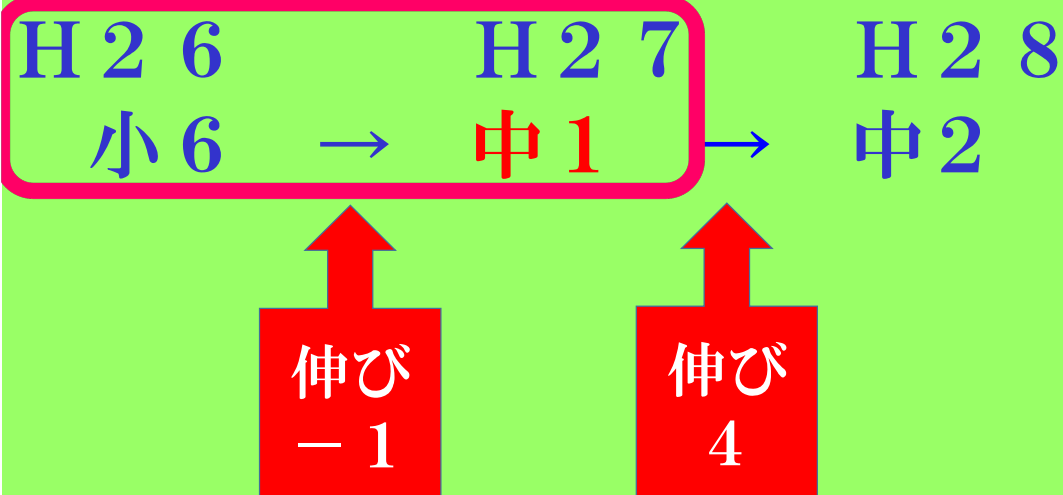
H 2 8

中 1

伸び
3

伸び
1

現在の鳩山町の中学3年生
県学力・学習状況調査（算数・数学）



H29（H27→H28）各学年の伸びの度数分布表

伸び		1年(人) 小5→小6	2年(人) 小6→中1	3年(人) 中1→中2
以上	以下			
10	～ 12	5	2	1
7	～ 9	8	2	13
4	～ 6	33	18	31
1	～ 3	26	40	40
-2	～ 0	20	23	12
-5	～ -3	1	7	3
-8	～ -6	0	3	0
合計		93	95	100

H29 (H27→H28) 各学年の伸びの度数分布表

伸び		1年(人) 小5→小6	2年(人) 小6→中1	3年(人) 中1→中2
以上	以下			
10	～ 12	5	2	1
7	～ 9	8	2	13
4	～ 6	33	18	31
1	～ 3	26	40	40
-2	～ 0			
-5	～ -3			
-8	～ -6			
合計		72人 77%	62人 65%	85人 85%

H29 (H27→H28) 各学年の伸びの度数分布表

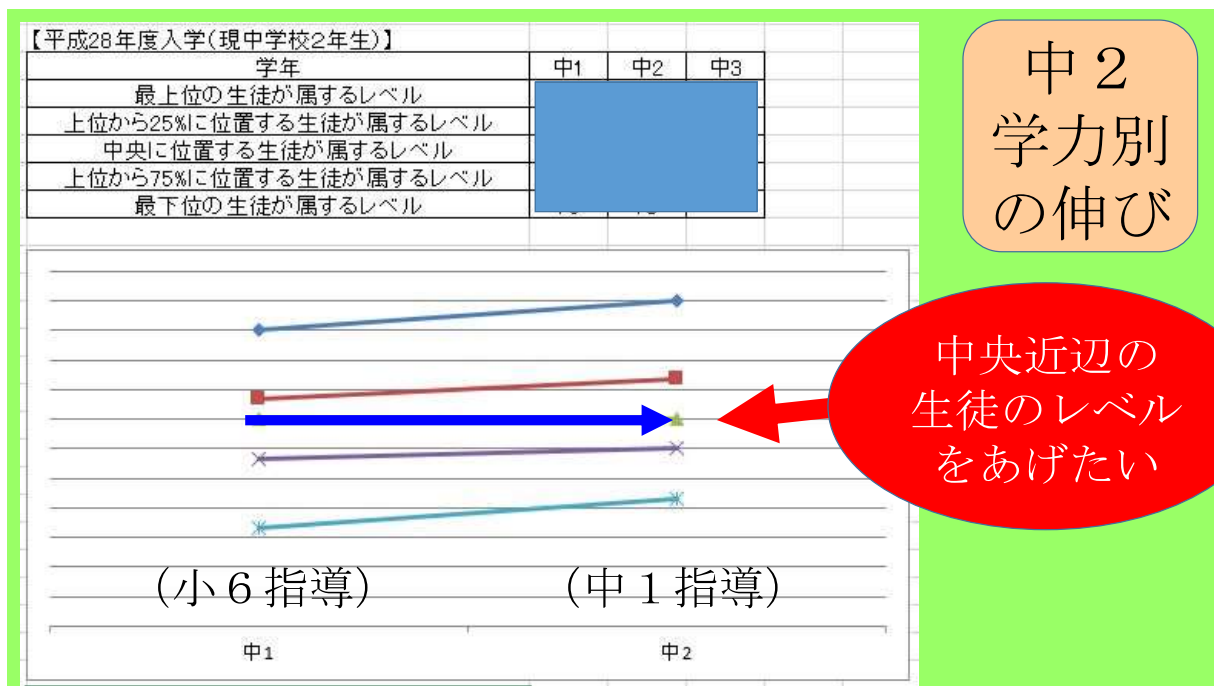
伸び		1年(人) 小5→小6	2年(人) 小6→中1	3年(人) 中1→中2
以上	以下			
10	～ 12	5	2	1
7	～ 9	8	2	13
4	～ 6	33	18	31
1	～ 3			
-2	～ 0			
-5	～ -3			
-8	～ -6			
合計		46人 49%	22人 23%	45人 45%

H29 (H27→H28) 各学年の伸びの度数分布表

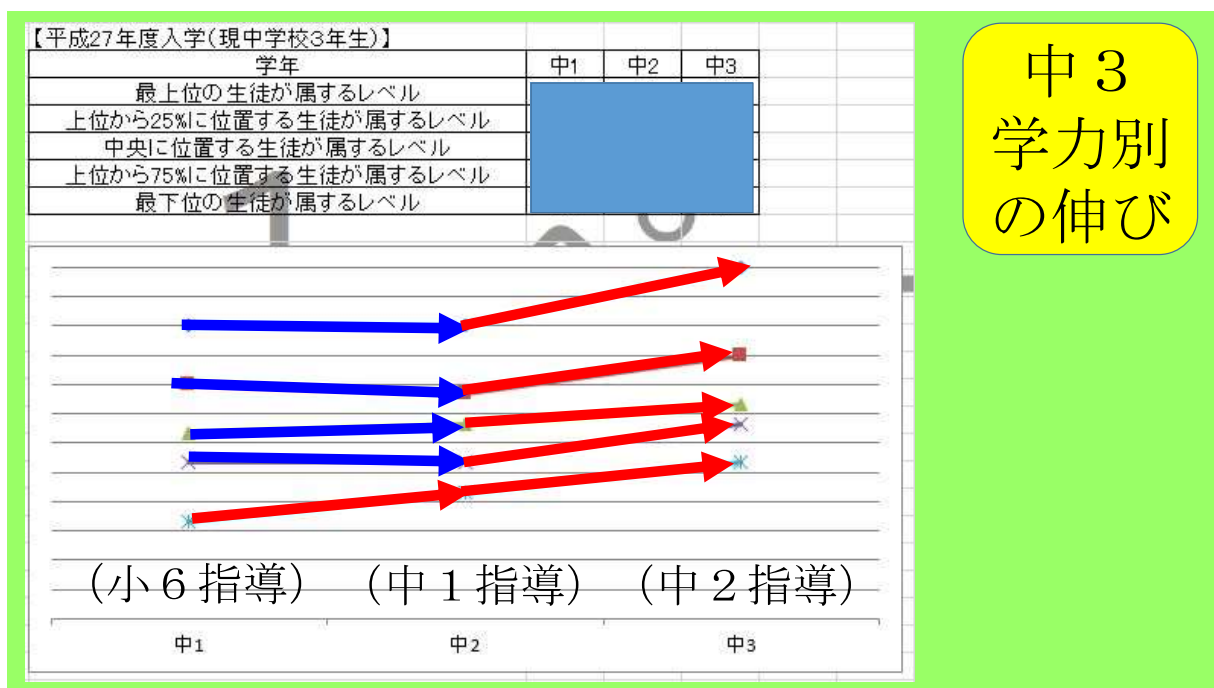
伸び		1年(人) 小5→小6	2年(人) 小6→中1	3年(人) 中1→中2
以上	以下			
10	～ 12	5	2	1
7	～ 9	8	2	13
4	～ 6	23	18	21
1	～ 3			
-2	～ 0	13人 14%	4人 4%	14人 14%
-5	～ -3			
-8	～ -6			
合計		93	95	100

H29 (H27→H28) 各学年の伸びの度数分布表

伸び		1年(人) 小5→小6	2年(人) 小6→中1	3年(人) 中1→中2
以上	以下			
10	～ 12			
7	～ 9	1人 1%	10人 11%	3人 3%
4	～ 6			
1	～ 3			
-2	～ 0			
-5	～ -3	1	7	3
-8	～ -6	0	3	0
合計		93	95	100



中2
学力別の
伸び



中3
学力別の
伸び

【課題】 小6→中1の伸び

【考えられる原因】

中1ギャップ

①算数と数学の違い

(数→文字、帰納→演繹、操作→証明)

②環境の変化 (教科制、部活・・・)

現在の中3 中1→中2の質問紙結果から

現在の鳩山町の中学3年生

H29算数・数学の

アクティブ・ラーニングに関する質問

H27

H28

中1

→

中2

2.2

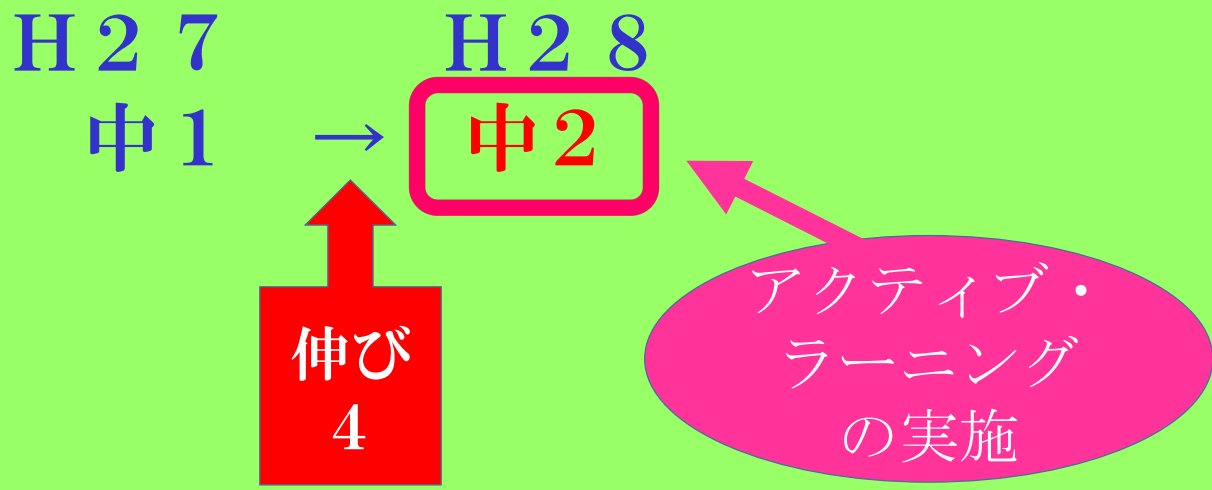
2.0

(数値が小さい

変化-0.2

ほど実施)

現在の鳩山町の中学3年生
県学力・学習状況調査（算数・数学）



【課題】 小6→中1の伸び（特に中央の生徒）

【考えられる原因】 中1ギャップ

①算数と数学の違い

（数→文字、帰納→演繹、操作→証明）

②環境の変化（教科制、部活・・・）

③アクティブ・ラーニングの機会の必要性

【課題】 小6 → 中1 の伸び（特に中央の生徒）

③ アクティブ・ラーニングの機会の必要性

対応



（本校の研究課題）

- ・ 主体的に学び、話し合い、深め合うこと
- ・ 本時の課題 → 生徒の言葉でまとめること
（平成24年度からの研究課題）

（本校の研究課題）

- ・ 主体的に学び、話し合い、深め合うこと
- ・ 本時の課題 → 生徒の言葉でまとめること

研究方法

- ① 埼玉県教育委員会による講義
- ② 授業の仕方の統一
- ③ 2種類の研究授業（年間1人3回）

①埼玉県教育委員会による講義

平成29年5月15日（月）15:30～鳩山中学校：視聴覚室

1. 授業改善の視点

（「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて）

2. 埼玉県学力・学習状況調査の活用

3. 全国学力・学習状況調査の活用

4. 「復習シート」と「コバトン問題集」

1. 授業改善の視点

（「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて）

主体的な学び

「めあて」→「見通し」→「まとめ」「振り返り」

対話的な学び

つながりのある**双方向の対話**

深い学び

「**見方・考え方**」が鍵



②授業の仕方の統一

(授業の中での話し合い)

- ・グループ学習は3人または4人とする。
- ・グループで班長を決めておく。
- ・話し合い活動を行うとき、班長が司会となり、話し合いを深めていく。

②授業の仕方の統一

(授業の流れ)

- ・本時の課題を提示する。
- ・グループ学習でまとめたことは発表用ボードにまとめて発表する。
- ・振り返りは自分の言葉でまとめ、数人を指名し、発表する。

本時の課題の提示



生徒の言葉によるまとめ

<p>1</p> <p>0より大きいのは「正の数. 0より小さいのは「負の数. である. 0は, 0であって正の数にも, 負の数にも, あてはまらない. 正の符号「+」 負の符号「-」 +は, 今までは省いていただけである -は, 絶対に付けなくてはけない.</p>	<p>2</p> <p>整数</p> <p>整数は, 小数でも分数でもない数のこと. 正の数・負の数は整数である, このとき「0」も整数に入る. また, 正の整数を「自然数」と呼ぶ.</p>
<p>4</p> <p>不等号をつけるとき, -の場合, 絶対値</p>	<p>5</p> <p>異符号の場合には, 絶対値の</p>

③研究授業 その一

(校内研修における研究授業)

1. 各部会（国・数・社・理・英・実技）から1名
指導案作成 → 研究授業 → 研究協議
2. 代表者以外の人
研究授業 → 研究協議
3. 校内研修会で、研究の内容・成果・課題の報告



国語

社会

数学



数学科部会

平成29年8月12日(火) 板倉市 杉井 幸

1. 表題内容 いろいろな計算(1年3冊)

2. 本時の課題 『□□□を使うと、一』

3. 生徒のまとめ 『加減や乗除の交換法則・結合法則、分配法則を使うと、簡単に正確よく計算することができる。』

4. 授業について (略)

5. 成果と課題

①成果

- 自分のことばでまとめる授業
- 『加減や乗除の交換法則・結合法則、分配法則を使うと、簡単に正確よく計算することができる。』とまとめられた生徒は、約88%であった。その他、具体的な問題の例を示す生徒が1人、『並び替えて表にする』と記述した生徒が1人、『0と1をつくる』と記述した生徒が1人、『法則を使う』と記述した生徒が1人であった。ほとんどの生徒が本時の課題が何であるかを理解できていた。
- (アウティブローコンクリの授業)
- 生徒はよく理解しており、しっかり自分自身の言葉で説明できていた。
- 『自分の言葉でまとめてみよう』を書かせるための下準備(各問題の解法の説明、グループでの教え合い活動)が効果的に展開していった。
- 説明係を意図的に分担したことで、すべての生徒の得意の場が用意されていた。

②課題

- 自分のことばでまとめる授業
- ほとんどの生徒が本時の課題が何であるかを理解できていた原因の一つとして、たまたままとめたことばが受けられる。しかし、あまり言葉を解釈しすぎると、教師が決めるまとめに大きくことばできるが、生徒の豊かな考えや言葉を聞かないかねない。
- まとめの時間を設けてきたが、まだまだ異なる改善の余地が窺われている。
- (アウティブローコンクリの授業)
- 4人グループでの説明があっても、2対2に分かれる傾向がある。
- 分担したものの、説明が1人の人(数学が得意な人、積極的な人)に偏る傾向がある。
- 話し合いや、まとめに時間をかけすぎて、多くの得意問題を扱えない。

本時の課題

期待する生徒のまとめ

成果と課題

- ・ 生徒の言葉でまとめる視点
- ・ 話し合いの視点

4月11日	研究主題・研究組織の検討
4月24日	研究授業者の選出
5月15日	埼玉県教育委員会の講義
6月22日	教科部会
9月4日	全国・県学力学習状況調査分析
9月21日	校内研修 発表 (数学・理科)
10月26日	校内研修 発表 (社会・英語)
11月20日	校内研修 発表 (国語・実技)

[アクティブ・ラーニングの視点] の主な成果

①国語

- ・グループでの活動に慣れてきたので、自然に文章を読み合ったり、評価し合ったりすることができた。

[アクティブ・ラーニングの視点] の主な成果

②数学

- ・説明係を意図的に分担したことで、すべての生徒の活躍の場が用意されていた。
- ・数学を得意とする生徒が、苦手な生徒に対して粘り強く説明を行っていた。

[アクティブ・ラーニングの視点] の主な成果

③社会

- ・生徒に書いてもらったまとめの中で、「グループで話し合うことで、考えが深められた」という記述も多くあり、アクティブラーニングの成果が出ていると感じられた。

[アクティブ・ラーニングの視点] の主な成果

④理科

- ・班の中で考え方が異なっていた時には、それぞれが積極的に考えを聞きあい、議論が行えていた。
- ・まわりの仲間に積極的に教えてもらおうとする姿が多く見られた。

[アクティブ・ラーニングの視点] の主な成果

⑤英語

- ・他の生徒が作った文章を聞いて、より良い英文やオリジナリティーの高い英文を書けるようになったり、自分の間違いに気づいたりできるようになった。

[アクティブ・ラーニングの視点] の主な成果

全体

- ・聞く姿勢
- ・説明する姿勢
- ・教え合う姿勢
- ・発展させる姿勢

③研究授業 その二

(管理職参観における研究授業)

- ・全教員対象
- ・5月と9月の計2回(管理職が計画)
- ・研究授業→反省会(授業者、管理職、参観者)
→校内研修(管理職から授業の紹介)

授業参観で気づいたところ (校長・教頭)			
平成29年9月 8日 (金) 第(3)校時			
教科	3-3 社会	授業者	〇〇 〇〇
良かったところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合い活動がスムーズだった。普段から取り組んでいる成果だと思う。 ・授業の時間内に本時の課題のまとめと発表ができた。 			
改善すべきところ			
<ul style="list-style-type: none"> ・展開を教科書のようにやった方がいいと思う。 本時は、①グループでの話し合い ②グループで「あってよい違い」「あってはならない」というのはどんなものなのかをまとめて発表する 教科書では、①自分で考える ②グループで話し合う ③グループでの意見と理由を発表する ④もう一度自分の考えをまとめる ・各班の発表が「あってよい違い」「あってはならない」というのはどんなものなのかをおおざっぱにまとめたものだったので、深まりがなかった。 ・本時の目標はなんなのか? 指導案では <ul style="list-style-type: none"> ①文化や個性の多様性について考えることを通して、人権の考え方への関心を高める。 ②具体的な事例について、人権尊重の視点から検討し、話し合うことを通して、自他 			

その他の取組

①リトル・ティーチャーを導入した復習の授業（数学）

男女	出席番号	名前	テスト点	班	先生
男	1105	〇〇 〇〇	25	1	1
男	1111	〇〇 〇〇	50	1	◎
女	1120	〇〇 〇〇	44	1	
女	1126	〇〇 〇〇	45	1	○
男	1101	〇〇 〇〇	25	2	
男	1110	〇〇 〇〇	49	2	◎
女	1118	〇〇 〇〇	45	2	○
女	1119	〇〇 〇〇	42	2	
男	1104	〇〇 〇〇	48	3	◎
男	1114	〇〇 〇〇	27	3	
女	1116	〇〇 〇〇	45	3	○
女	1122	〇〇 〇〇	42	3	
男	1108	〇〇 〇〇	31	4	
男	1112	〇〇 〇〇	48	4	◎

理解度の高い生徒
と低い生徒を
組ませる

理解度の高い生徒
が先生役

- ①机を向かい合わせる
1. の問題をやる
 - ②先生にまるつけをして
もらい、間違いを直す
 - ③机を前に向ける
2. の問題をやる。
 - ④前にある答えを取りに
来て、自分でまるつけ
 - ⑤教科書P80. 81
- ※先生は、全員、④まで
終わったら⑤をやる。

黒板に掲示する

先生役は、
教えることに
専念する

その他の取組

②管理職によるアクティブ・ラーニングの規範授業

教頭：国語（全クラス1時間ずつ）

クラス合唱曲の歌詞の意味について学ぶ



話し合い



発表



振り返り

その他の取組

校長：人権学習（全クラス1時間ずつ）
人権感覚プログラムを使って



話し合い



発表



振り返り

その他の取組

③対話的な家庭学習

- 数学通信を保護者に配布
- 親子で協力してできる教材を紹介
 - トランプを使った正・負の数の様々なゲームのやり方
 - 音声トレーニングのやり方

一番星

数学通信
H29. 5. 19 (金) 第2号

いよいよ、中学一年生にとって、初めての定期テストが実施に近づいてきました。お子様のテストの準備は万全でしょうか？今回は、二次項でも簡単に、遊ばしながら、学習で活用ゲームを紹介します。(中略テストの範囲です)

用意するもの・・・トランプ1セット

ルール・・・トランプのマークで表れる♠、♥は正の数(+)
 例：♠A → +1、♠K → +13
 トランプのマークで表れる♠、♦は負の数(-)
 例：♥Q → -12、♦J → -11
 ジョーカーは、0 (で表れる2枚あるといふ)

ゲーム① 数の大小ゲーム

ルール1 全員にカードを3枚ずつ配る(裏にして)
 ルール2 カードの中央は開いて、両手1枚ずつ出す。
 ルール3 ※5より大きい数の人の勝ちで、カードをすべてめくると。
 ルール4 同じ数だったら、該当者同様に、延長戦。
 ルール5 最後まで、勝ち負けて、自分の持っているカードがすべてなくなったら負け。
 例：♠5 (-5) < ♠2 (+2) ♠5 (-5) > ♥7 (-7)
 負け 勝ち 負け
 ※5より大きい数+5より小さい数+絶対値(十一の大きい)絶対値(十一の小さい)数字(十)の大きいと途中でおさまると、勝ち負け、延長になる。

ゲーム② 数の戦ゲーム(トランプゲーム)

ルール1 全員にカードを2枚ずつ配る(裏にして)
 ルール2 一人が持っているカードの山(裏にして)から、1枚とって、3枚にする。
 ルール3 その中の好きな1枚を裏にして出す。
 ルール4 他の方の2枚のカードの数が、同じだった場合は、「トランプ！」と言って全員に公開する。
 ルール5 全員で確認して、間違っていないのなら、トランプと言った人の勝ち、言わなかった人の負け。
 例：
 Bくん ♠3 (-3) ♠2 (-2) = -5 勝ち
 ↓ トランプ！
 Aくん ♠8 (-8) ♠5 (-5) = -13 負け
 Cくん ♥5 (-5) ♠5 (+5) = -1 負け

※1 トランプなしの場合は、(くわしくはお子様にお聞き下さい)
 ※2 (同時として、2枚を3枚、4枚・・・と増やしたり、2枚の引き算にしたりしてもいい。(中略テストの範囲です。))

ゲーム③ 2とも、計算など、大変だったら、A-10のカードで代わるといいです。

学習時間短縮のための活用
 数学の学習ノートP. 10-P. 23
 コロケをして提出
 提出日5/28 (土)の授業中

学習時間短縮のための活用
 ①赤の口に入るマークは
 どんなマークでもいい。

②ある有名な小学校の入学試験問題です。次の数字はどんな規則で並んでいるのでしょうか。
 0, 10, 1110, 3110, 132110, 13123110, 131231110, 23124110
 ※なんと、お家のテストでこれができたらすごい人なんです。普通知りません。あなたが解けるものはありません。この番号が正しい可能性があります。一生懸命でください。(17/17)

トランプを使った
正・負の数ゲーム

一番星

数学基礎
H29. 10. 〇 第3巻

正しい、算数の6教科に慣れてきた人が多く増えてきました。今回は、**基礎的な観点で、お子様の学力を上げたい方**に特化した教材です。（**数検テストの練習です。**）

得意とするもの・・・ストップウォッチ（時計の測れるもの）、問題の冊子

やり方

1. 両手半分に向けて、①お子様は、問題だけ見えるようにする。②保護者は、解答が見えるようにする。
2. 「問題スタート!」 「A!」 (BでもCでもDでもよい) で、ストップウォッチでタイムを測る。
3. お子様は「x=〇」と答えていく。そのとき、間違えていたら、「間違え!」と指摘する。
4. 正解するまで、次の書は書かない。
5. 間違えたときのタイムを記入する。

※問題紙は、4種類、得意してあります。お子様の理解度によって、使い分けて下さい。

例：1日目×①、2日目×②、3日目×②、4日目×②、5日目×①、6日目×②、・・・

1分過ぎたら、次の問題に行く。

毎日、①～④までやる。

A.

①	→	→	→
②	→	→	→
③	→	→	→

B.

①	↓	↓	↓
②	↓	↓	↓
③	↓	↓	↓

C.

③	←	←	←
②	←	←	←
①	←	←	←

D.

③	↑	↑	↑
②	↑	↑	↑
①	↑	↑	↑

タイム記入用紙

	方程式①	方程式②	方程式③	方程式④
1回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
2回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
3回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
4回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
5回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
6回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
7回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
8回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
9回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
10回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
11回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
12回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
13回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
14回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒
15回目	分 秒	分 秒	分 秒	分 秒

音声トレーニング

方程式① 問題

B ↓

A →	$x - 3 = 5$	$x + 4 = -3$	$x - 2 = -3$
	$x + 6 = -7$	$x - 8 = 7$	$x + 9 = 1$
	$x - 1 = -5$	$x + 6 = -5$	$x - 2 = 8$

↑ D
← C

方程式① 解答

B ↓

A →	$x = 8$	$x = -7$	$x = -1$
	$x = -13$	$x = 15$	$x = -8$
	$x = -4$	$x = -11$	$x = 10$

↑ D
← C

方程式② 問題

B ↓

A →	$2x = 6$	$-4x = 24$	$\frac{1}{2}x = 6$
	$6x = -12$	$-\frac{x}{5} = -10$	$-x = -8$
	$\frac{1}{3}x = -3$	$-7x = -14$	$3x = 12$

↑ D
← C

方程式② 解答

B ↓

A →	$x = 3$	$x = -6$	$x = 12$
	$x = -2$	$x = 50$	$x = 8$
	$x = -9$	$x = 2$	$x = 4$

↑ D
← C

音声トレーニング

まとめ

小学校
加配教員による授業
復習シート等の活用

中学校
アクティブ・ラーニングの
授業の仕方の統一
研究授業と反省会



児童・生徒の学力の伸びが期待される

課題

- 小学校
- ・加配教員による授業の回数が少ないため、学力の変化を捉えきれない。
 - ・復習シートを授業の中で導入したいが、時間を取りにくい。

課題

中学校

- ・ 今後、授業の仕方の統一を見直して、もっと明確にしていきたい。
- ・ 単にグループにして、話し合う時間を設けるのではなく、それが、より深め合えるものになるような工夫が必要である。

現在の鳩山町の中学3年生

H29 算数・数学の

作業方略に関する質問

H27

H28

中1

→

中2

2.4



2.3

(数値が小さい

変化 - 0.1

ほど実施)

課題

作業方略

- ・勉強に必要な物を用意してから勉強する。
- ・大切だと思ったことをノートにまとめる。
- ・大切なことを繰り返して書いて覚える。

平成28・29年度 学力向上研究校指定事業の 取組について

(西部地区) 鳩山町立鳩山中学校